

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス衣笠教室		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援と放課後等デイサービスの利用者が交流できる環境を整えている。	・余暇時間に、児童発達支援の利用者と遊べる活動を用意し提供している。	・イベント行事など児童発達支援の利用者も参加できる活動を提供し、関わりの場を設けている。
2	・1コマ30分ほどの療育トレーニングを提供している。	・週間テーマを設定し、毎週活動の異なる療育トレーニングを提供している。 ・週間テーマに沿った活動を個別のレベルに合わせて提供、サポートしている。	・苦手なことや嫌いなことに興味を持ってもらえたり、“できた”という成功体験を積んでもらえるよう日頃から職員間で活動内容を検討している。
3	・活動内容によって、過ごす場所を分けている。(療育トレーニングや身体を動かす活動、遊びなど)	・利用者が視覚的に活動区域を判断できるようにマットや掲示物などを使って示している。また、利用者の気持ちの切り替えの場として別室の活用もしている。	・日頃からその時の利用者の発達や様子に合わせて配置換えをし、環境構成を整えていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリー化が不十分の為、対象となる利用者の受入れが現状難しい。	・事業所が3階にあり、階段を使つての来所が必要なこと。	・エレベーターやスロープなどの設置が必要。
2	・現状問題は起きていないが、今後複数人の利用者の気持ちの切り替えの場を提供できるよう整える必要がある。	・部屋数に限りがあるため、一度に2人までの利用者の気持ちの切り替えとして別室を提供することができるが、それ以上の人数の切り替えの場を提供できていない。	・仕切りなどを使って空間を分けるか、玄関横にある倉庫を活動した切り替えの場として活用することも必要だと考える。
3			